

教員名(Name) : 齋藤 弘子

---

**\*ゼミタイトル Seminar Title**

実践的英語音声学—英語の発音を客観的にとらえる—

**\*授業概要 Outline of the contents**

このゼミでは、世界に存在する様々な「英語」の発音を、「カッコイイ」、「気取った感じ」、「きれい」、「クセがつよい」など主観的にではなく、客観的にとらえられるようになることを目指します。それがどこの方言なのか、その方言ではなぜそのような発音なのか、音声学の知識を駆使しながら客観的にとらえる方法を学びます。発音について書かれた英文記事を読んだり、実際の発音を聞いて記述（＝発音記号で書き取る）したりしながら、英語の発音の方言差に気付けるようになります。

アメリカとイギリスの「標準的な」発音のほか、地域方言、社会的な方言にどのようなものがあるかについて概観し、いわゆるネイティブスピーカー以外の話者の発音についても見ます。

**\*授業の形式 How the class is conducted**

英語で書かれた発音にまつわる記事を読んだり、音声を聞いて発音記号で書き取る練習をしたりします。

コースの最後には、学生が選んだ発音に関するトピックについて、調べたことを発表します。

**\*課題・成績評価基準 Requirements and Assessment**

英文を読むばあいは事前に知らない語句を調べるなどの予習が必要です。発音記号を覚え、書いて読めるように復習も必要です。その上で、授業中に活発に発言し、調べたことを発表してもらいます。それらの平常点のほかに、コースの最後にはあるトピックについて調査・発表してもらうので、その内容についても評価します。

**\*その他 Others**

前もっての音声学の知識は必要ありませんが、言語の発音に興味があり、発音記号を覚える気力のある学生である必要はあります。